



LETTERS FROM SCHOOL

受験、進路選択、夢に向かって邁進中です！

弓削高等学校

ようこそ電子黒板！

冬休みの間に各教室に電子黒板が設置されました。黒板からホワイトボードになったことで、教室の雰囲気も明るく感じます。黒板がなくなる寂しさもありましたが、このホワイトボードは、さまざまな機能があるためとても便利です。教員は、この電子黒板をどのように活用したら、より分かりやすい授業になるか日々研究しています。時には、生徒の方が機械操作に慣れて、教えてくれることもあります。頼もしいです。



いざ、共通テストへ！

1月15、16日に大学入学共通テ

<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>



ストが行われ、本校からも11名が受験しました。これまで頑張ってきたことをすべて発揮してくれたと思っています。



いつもとは一味違う！

進路ガイダンス

1月31日(月)に進路ガイダンスを実施しました。毎年、専門学校の先生方にお越しいただき、さまざまな分野について教えていただく進路ガイダンス。今年度は、感染予防の観点から、外部の先生方をお呼びすることができませんでした。その代わりに、弓削高校

の教員が、高校生の時どのように進路選択し受験勉強をしたか、高校生活で頑張ったこと、失敗から学んだことなどを話すという新しい内容で実施しました。普段の授業ではあまり聞けない先生たちの人生の話を、生徒も興味津々。勉強方法や、人生のアドバイスをメモを取りながら聞いていました。



島親募集！

チームで休日に食事等の面倒を見ていただける皆さまを募集します

連絡先 ☎ 77-2021

弓削高校 教頭 渡邊



弓削商船高等専門学校

<https://www.yuge.ac.jp/>



高所作業車運転特別教育

本校地域共同研究推進センターは、弓削商船高等専門学校技術振興会と共催で高所作業車運転特別教育を12月10日(金)、11日(土)に実施しました。

(株)アイチコーポレーションアイチ研修センターから講師を招いて行い、本校の学生、教職員ら計43名が受講しました。



受講生たちは高所作業車に関する基本的な知識を学んだ後、高所

作業車での実技に臨みました。実技では、2班に分かれ説明を受けた後、順番に高所作業車に乗り込み、実際に上昇、下降等の操作を行いながら技術を習得しました。作業床の高さが10m未満の高所作業車を操作する場合、この「高所作業車運転特別教育」を修了することが労働安全衛生法で義務付けられています。

受講生たちは、無事2日間にわたる講習を終え、特別教育修了証が交付されました。

留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛2021

12月19日(日)、愛媛県松山市で開催された「第18回留学生日本語スピーチコンテストin愛媛2021」に本校の留学生3名が参加

しました。

これは愛媛県留学生等交流推進会議が主催し、愛媛県内の高等教育機関等に在籍している外国人留学生を対象に毎年開催されています。

当日は、愛媛県内の大学等から12名の留学生が参加し、その中で本校の情報工学科3年ビレグトさんが優秀賞、同じく情報工学科3年のイービーさんが特別賞を受賞しました。



島おこし協力隊活動報告

皆さんは『グローバル』という言葉聞いたことがありますか？この言葉は、グローバル(global、世界)とローカル(local、地域)を掛け合わせた日本発の造語になります。元々はマーケティング用語であり『グローバル人材』とは一般的に、国際社会で通用する能力やグローバルな視点、経験をもって、地域社会・地域経済の活性化および持続的発展に貢献する人材のことです。

島においては特に海外に出ることだけがグローバルなわけではなく、県外や他の地方に出たことがある人々もグローバルだといえると思います。私たち協力隊はグローバル人材だといえますが、町内

Think globally, act locally (地球規模で考え、足元から行動せよ)

のALTや移住者、県外からの学生、地元でUターンされた方々も漏れなくグローバル人材だと思います。外を見て内を見ることが重要であり、皆さんが外から持ってきたさまざまな考え方や経験を、今住んでいる地域のために活かすことができと思っています。

さて、昔と比べて現代は外に出ることは容易になりましたが、実は一番難しいのは外でインプットしたことをどう地域社会にアウトプットし、よりよい環境を作っていくかということです。学びを定着させる具体的なアウトプットの工程には、次のようなものがあるそうです。[自分の経験と結びつける][知っている知識と比べる]

[自分の表現で言い換える][活用して応用させる]

私も上島町で協力隊として活動しながら、アウトプットに挑戦中です。一人でできることは少ないので、地域をより深く知り、能力を活かして課題解決ができるようにこれからも頑張っていきたいと思っています。



島おこし協力隊 中山なぎ

島おこし協力隊活動報告(公営塾)

こんにちは!ゆめしま未来塾の田邊です。今回はインタビュー形式で塾生に話を聞いていきます。今回は岡山理科大学に合格した後藤くんにお話を聞かせてもらいました!



ー本日は宜しくお願いします!早速ですが、後藤君はなぜ弓削高校に来ようと思ったのですか?

後:身も蓋もないですが、家から近いことが1番の理由です。毎日通学することを考えると近いことは僕にとって大切です。あと生徒数が少ないので環境が有効に使えると思いました。

ー弓削高校でよかったことは何ですか?

後:知っている先輩が多くて親しみやすかったことです。上下関係なく、学校の環境に慣れるのが早かったです。

ー弓削高校に通って3年間、自分が変わったと思うことはありますか?

後:中3から高2くらいまでの時期は周囲に対してトゲトゲしていたんですが、今は「トゲがなくなっ

「ゆめしま未来塾 特別インタビュー」

た」[丸くなった]と周りの人からいわれます。ー確かにそう思います。何がきっかけで変化がありましたか?

後:きっかけは人間関係ですね。2年生の時、自分とは全くタイプの違った先輩と仲良くなりました。その人はいわゆる天然で、大きな声でバカなことがいえる人でした。それまでの僕だったら「何言ってるんだこの人」と冷めた視線を送っていたと思いますが、仲がよかったこともあり楽しく、自分には出来ないことを出来てすごいと素直に感じました。ーそれは大きな感じ方の変化ですね。それは行動にも影響しましたか?

後:いろんな人と自分の方から話すようになりました。少しずつ話しかけられることも増えました。僕が1年の時には部活の先輩によくしてもらったので自分が3年になってからは、自分がしてもらったように後輩をかわいがっています。

ー行動の変化を通して発見したことはありますか?

後:以前は人に話しかけるのも面倒だと思っていましたが、話してみると意外と面白い人が沢山いました。あと話したり笑ったりすることが増えたせいなのか、表情や顔つきが変わりました。とても明るくなりました。高1の時の写真を見ると自分でも別人のように感じます。

ー弓削高校の3年間を通して内面的な気づきと成長の機会があったのですね。後藤君は岡山理科大学への進学ということですが、なぜその大学に決めたんですか?

後:僕は化学が好きで、その大学では実験の授業が多いのが一番の理由です。中学の時に授業で色んな実験をして、それが面白くて好きになりました。高校化学では物質の瞬間の反応が面白いのです。もう一つの理由としては、安心して授業に臨める体制が整っていることです。高校で履修しなかった科目も付属高校の先生が授業をしてくれるので、基礎部分の不安な部分もカバーできます。

ー最後に、今後ゆめしま未来塾に入塾する生徒に一言ください!

メリハリがつけられて、勉強が苦手に感じている人でも勉強する習慣が作っていける環境だと思います。



ゆめしま未来塾 田邊 勇人